



芝山小だより



1月号

清瀬市立芝山小学校
校長 榎並 みな子

明けましておめでとうございます

今年もよろしくお祈いします

校長 榎並 みな子

担任をしていたころの子供（今はすでに社会人です）からの年賀状が20年以上続いて届いています。多くを語らない内容ですが、学生のころ、就職したばかりのころ、中堅どころになった今、その時々頑張っている様子が浮かんで来ては、嬉しくなります。容姿は、担任していたころのままの姿で思い浮かべているので、きっと本当は立派な姿へと成長していることと思います。

教員という仕事に就いたことで多くの子供たちと出会い、卒業後、そしてさらに年月がたち、どこで何をしているのかも分かりませんが、健やかな成長を願い続けています。また、何かをきっかけにそれぞれの場所で活躍していることがどこからか聞こえてくると、まるで自分の子供のことのようにとても嬉しくなり、これからの活躍に期待しています。

さて、2026年 丙午。午年は、躍動する年です。子供たち一人一人がそれぞれのもつ力を発揮し、生き生きと活動する、そんな姿が想像しつつ、今日から3学期がスタートしました。子供たちは、冬休みの間に今年の目標を決め、今日の始業式を迎えたことと思います。勉強、運動、行事等、新しい年の初めに立てた目標ですから、今年度の終わりには、必ず「頑張った」「できた」と満足する姿を楽しみにしています。

目標を達成するためには、「いつ」「何を」「どのように」「どの程度」すればよいのかを具体的にすることや、自分が目の前のことに対して主体者となって、積極的に取り組むことが大切であり、大きな力を付けていくことにつながります。

学習の定着率について、アメリカ国立訓練研究所が発表した「ラーニングピラミッド」で見ると、主体的な行動が高い数値を表していることがよく分かります。

講義を聞くだけなら	5%
読書すると	10%
動画・音声によると	20%
実験を見たり見学したりすると	30%
グループなどで議論すると	50%
実践により経験したり練習したりすると	75%
発表したり教えたりすると	90%

子供たちが、自分が学んだことや積み重ねてきたことを、自分から発信したり活用したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるよう、教職員一同尽力してまいります。

3学期は、1年間のまとめとなり、進級・進学への大事な時期となります。保護者、地域の皆様には、「笑顔あふれる芝小 地域とともに」よろしくお祈いいたします。